⑬葛山地区（熊本市西区）

◆農家戸数　48戸
◆農地面積　76.8ha（樹園地）

日本一のみかん産地を目指して　～河内の星となる挑戦を！～

［中山間農業ビジョンの概要］

集落の課題（現状）

- 作業条件（収穫・運搬）が未整備な樹園地が多い
- 未整備な樹園地では、高齢者のリタイアで耕作放棄地化の懸念
- 耕作放棄による鳥獣被害の拡大
- 果樹経営の収益強化が必要

目指す将来像

- 作業性の向上・省力化
- 出荷物の高品質化
- 収益力の高いみかん産地の確立

具体的方策

- 耕作道路の整備や区画拡大等の基盤整備
- 高品質果実生産に向けた取り組み
- 担い手への農地集積
- 地域ぐるみでの鳥獣被害対策の徹底

［ビジョン策定のプロセス］

ビジョン策定以前

◆河内町は熊本の中でも「重要な農業地・みかんの産地」として知られ、行政においても重点地区としての認識があった。

◆平成17年、「中山間地域等直接支払制度」の交付金を活用。機械などの購入を行う。

※先行して実施された上記事業が、後の農業ビジョン策定において人材・テーマのベースとなっていく。

ビジョン策定メンバーの構成

◆平成30年、中山間農業モデル地区支援事業の採択を受け、「農業ビジョン」策定へ。

◆ビジョン策定メンバーの構成については、JAや地域と協議し、中山間地域等直接支払制度部会メンバーを中心に構成することになった。

農業ビジョンの策定

◆平成30年6月、農業ビジョン検討スタート。

◆機械等の購入整備は中山間地域等直接支払制度によって実施済みであったため、本事業では最大の課題であった「耕作道路の整備」を中心テーマとして設定した。

◆農業ビジョン策定作業は、大きく3段階で進められた。
（1）役員や組合員への事業説明と基礎的検討
（2）ビジョン検討と現地での視察・検討
（3）ビジョンの素案から最終案へのシェイプアップ

合意の形成

◆地域の特徴として、「みかん」という同じ作物を扱う農家が多く、耕作条件やその他の悩みも共通しているという点が挙げられる。

◆そのため、「耕作道路の整備」というインフラ整備は地域で共有できるものであった。
農業ビジョンの合意形成においてこの「共有できるテーマ」の存在は非常に有効であった。

⑬葛山地区（熊本市西区）

日本一のみかん産地を目指して　～河内の星となる挑戦を！～

［具体的な取り組み　計画と取組現状］

成果目標（令和4年度）：①省力化園地を1ha以上整備　②優良品種への転換を40a以上実施

1. 耕作道路の整備や区画拡大等の基盤整備

◆作業性を高めるため、自力施工による耕作道路の整備や区画拡大等の基盤整備に取組む。

◆耕作道路整備については、順調に推進。令和元年より開始し、令和2年2月以降にコンクリ整備。年度末までには360mの施工が完了予定。
◆区画拡大については、令和元年度実施を目標としていたが足踏み状態。県の要望と合致しなかったこと、予定していた区画の地主からストップがかかったことが理由。別の候補地を検討中である。

2. 高品質果実生産に向けた取り組み

◆消費者ニーズに対応した優良品種への転換、先進的な栽培技術（シートマルチ被覆、植物成長調整剤活用等）の普及、省力化に向けた機械導入、労働力の確保やトイレなどの労働環境の整備等に取組む。

◆需要の高い品種への転換を計画中。ただし、耕作道路整備が優先。
◆耕作道路整備を前提として、小型運搬車の導入を検討したい。
◆アルバイト雇用環境としても「トイレ設置」は必要だが、未導入である。

3. 担い手への農地集積

◆リタイアする農家の農地を担い手へ集積する等、集落での話し合いを通じた土地利用調整を推進する。

◆農林水産省の「人・農地プラン」により農地集積計画をすでに作成。将来的な農地集積を目指す。
◆熊本県青年農業者クラブ「4Hクラブ」所属の若手農業者の活動も活発。
◆ただし、農地集積も耕作道路整備が優先する。

4. 地域ぐるみでの鳥獣被害対策の徹底

◆イノシシ等の鳥獣被害の実態を把握し、被害状況を踏まえた対策を検討する。

◆地区全エリアにおいて、各農家で電柵などを設置。イノシシ侵入は減少。
◆耕作放棄地は近隣農家が手前で食い止めているが、今後に不安。
◆耕作放棄地を有する農家に、「農地集積」への理解を求め話し合いを行っているが、課題は多い。

［成果と今後の展開方向］

1. 全体的な成果

◆耕作道路の整備については、各農家の希望を取り入れながら実施。令和2年度末までには、360mの施工を完了予定。

◆「省力化園地の整備」「優良品種への転換」については、目標を維持しつつ、耕作道路の整備を優先。

2. 今後の展開方向

◆区画拡大の目的をいかに共有できるものにしていくか。区画拡大候補地の見直しと再検討が必要。

◆当事業は使い勝手のよい事業。できればさらに柔軟な工夫を。